

「地元の縄文」再発見プロジェクト事業について

(重点枠事業：令和4～6年度)

青森県埋蔵文化財調査センター

事業の目的

縄文遺跡群の世界遺産登録に湧く今、「地元の縄文」の価値や魅力を多くの県民にわかりやすく伝え、青森に生まれた子ども達が「青森の縄文にふれた原体験」を誇りに思うことができるように各種の取組を実施し、郷土愛の醸成、人財育成、地域活性化につなげる。

<文化庁補助「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」(国庫1/2)活用>

事業の内容

取組1「地元の縄文」活用促進

(1)「地元の縄文」地域連携会議の開催

- ・活用の仕組みづくりに向けた協議を2市町村で実施（7月・10月）

(2)「地元の縄文」教材の制作

- ・授業で直接触ることのできる「あおもり縄文遺物セット」を制作する。
(市町村への貸与は翌年度に開始)

取組2「地元の縄文」魅力再発見・情報発信

(1)「地元の縄文」再発見フェアの開催（9月・12月）

- ・講演会・シンポジウム
地元の文化財保護担当者が講演、埋文センター職員等が地元の縄文遺跡を紹介し、シンポジウムでは「地元の縄文」の活用について、聴講者とともに考える。
- ・出土品展示会
「地元の縄文遺物」及びパネル写真を展示。
- ・体験学習会
「地元の縄文遺物」に触り、縄文を身近に感じる。

(2)「地元の縄文」情報の発信

- ・遺跡／出土品カードの作成
県内の文化施設、道の駅、「地元の縄文」再発見フェア等で配布。
- ・「地元の縄文」再発見ホームページによる情報発信
カード裏面のQRコードでアクセス可能。

事業の計画

(1)令和6年度の流れ

- 7月 上北地域の市町村で地域連携会議開催
- 8月 「地元の縄文」再発見カード(201~250)配布開始
「地元の縄文」再発見ホームページに情報追加
- 9月 上北地域でフェア開催
- 10月 東青地域の市町村で地域連携会議開催
- 12月 東青地域でフェア開催
- 3月 教材の制作完了

(2)教材制作の対象地域とフェアの開催地域(毎年2地域)

- R 4 下北/中南
- R 5 三八/西北
- R 6 上北/東青**

(3)フェアの開催日程及び開催場所(予定)

上北フェア 9月14日(土)~16日(月) 三沢市公会堂

東青フェア 12月21日(土)・22日(日) 青森県総合社会教育センター